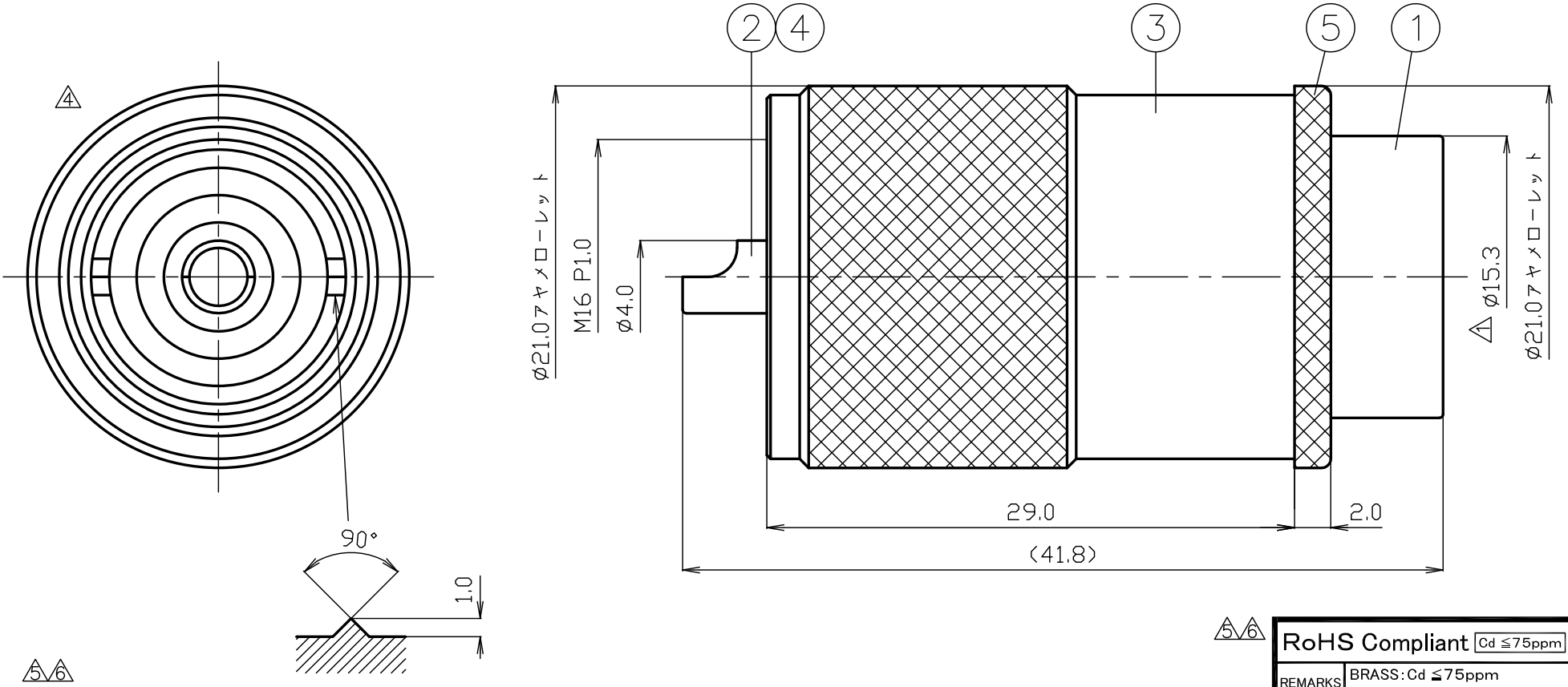


番号	変更・記事	日付	確認	番号	変更・記事	日付	確認
△1	φ15.5 → φ15.3 に変更	2007.02.13	済	△6	品名変更「MP-10テフロン」→「MP-10」、図面外観化、RoHS表記変更	2021.04.20	(出来)
△2	シェル、止めねじ 形状変更	2007.02.13	済	△7			
△3	社名変更	2012.02.03	済				
△4	形状修正	2012.06.27	済				
△5	RoHSに関する表記 追記	2012.06.27	済				



7	6	5	4	3	2	1	番号	部品名	材質	数量	処理	備考	尺 寸	3 / 1	製 図	検 図	承 認	確 認	品 名	図 番	
		止めねじ	絶縁体	接続ナット	中心コンタクト	シェル			黄銅	1	Ag		単位	mm	渡邊	檜	山	三	MP-10	J-0211839	
									テフロン	1	-		日付	2002.11.12	直弘	澤	本	村			
									黄銅	1	Ag		投影法								
									黄銅	1	Ag										

RoHS Compliant Cd ≤ 75ppm
 REMARKS BRASS: Cd ≤ 75ppm
 PHOSPHOR BRONZE: Pb < 4wt%

株式会社 トーコネ TO-CONN CO., LTD.

仕 様 書

品 名 MP-10
 図 番 J-0211839
 定 格 1 参考規格 JIS C 5419
 2 定格電圧 AC 500V
 3 定格周波数 200MHz
 4 公称インピーダンス 不整合

No. 0210646



項 目		条 件	規 格
1 2 3	構造及び形状寸法	添付図に示す (図番 : J-0211839)	異常のないこと
	材 質		
	仕上げ及び表示		
4	電 絶縁抵抗	DC 500V	100MΩ 以上
5	気 耐電圧	AC 1000V 1分間	異常のないこと
6 特 性	接触抵抗	接触間の電圧降下は約1kHzの交流 又は直流で1mVを超えない方法にて	3mΩ 以下
7	互換性	規格に準ずるコネクタと結合したとき	異常のなく結合すること
8 機 械 的 特 性	ケーブル接続強度	軸方向引張力 400N以上	異常のないこと
	結合部接続強度	軸方向引張力 300Nを加えたとき	接続ナットに 異常のないこと
	繰り返し動作	5000回の抜き差し後	接触抵抗は10mΩ 以下
10	その他	10D-2V、10C-2V、10C-FB、S-10C-FB、 EM-10D-2E、EM-10C-2E	

変更履歴		日付
1	社名変更	2012. 02. 03
2	品名変更「MP-10テフロン」→「MP-10」、適合ケーブル追記	2021. 04. 20
3		

確 認	承 認	検 印	作 成
 21.04.20 村	 21.04.20 本	 21.04.20 澤	 21.04.20 直弘

△ MP-10 取付仕様書

適合ケーブル

10D-2V,10C-2V,10C-FB,S-10C-FB,EM-10D-2E,EM-10C-2E

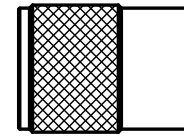
△ 左ねじ、
回転方向注意

図番
J-0211839

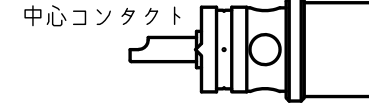


製図	検図	承認	確認
渡邊 '21.04.20 直弘	檜 '21.04.20 澤	山 '21.04.20 本	三 '21.04.20 村

部品構成



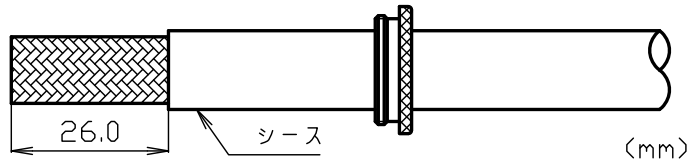
接続ナット



シェル

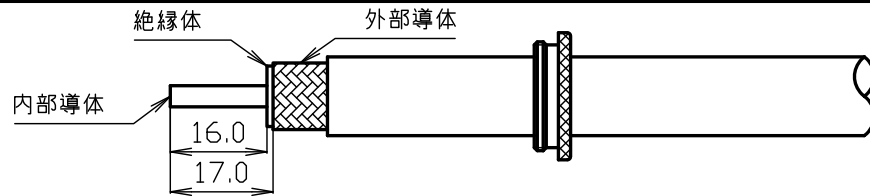


止めネジ

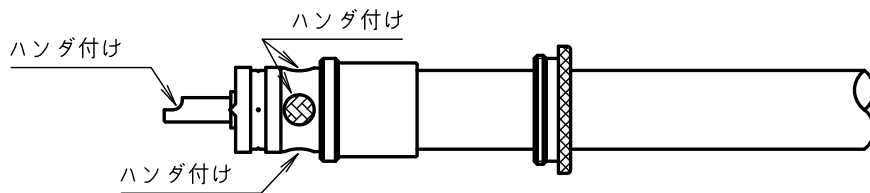


△	品名変更「MP-10テフロン」→「MP-10」	2021.04.20	△	番号	変更・記事	日付	確認
△			△		社名変更	2012.02.20	△
			△		左ねじ、回転方向注意 追記	2012.03.28	△
			△		適合ケーブル 追記、外部導体形状詳細形状 追記	2013.04.08	△

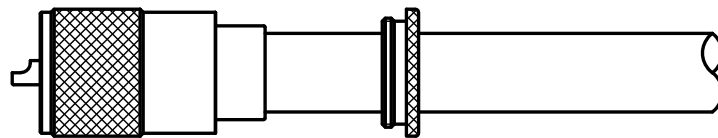
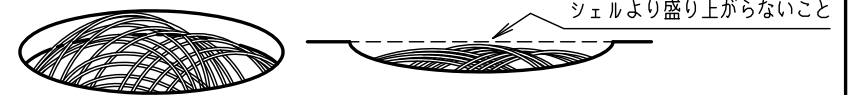
1 同軸ケーブルへ止めネジを通しシースを図中の寸法で切りとる。



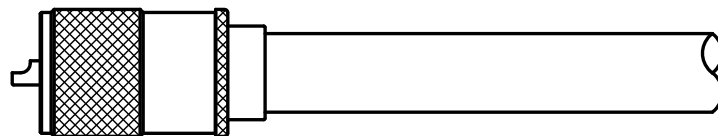
2 外部導体、絶縁体を図中の寸法で切りとる。



3 シェルを装着し、中心コンタクトと内部導体をハンダ付けをする。次に、シェルの穴部(4箇所)から見える外部導体を千枚通し等で下図のように持ち上げてから、シェルと外部導体をハンダ付けをする。



4 接続ナットをシェルへ装着する。



5 止めネジを接続ナットへ装着し(左ネジ)作業を完了する。